

診診連携まっど方式

- √ カルテの共有や事前のサマリー作成など、参入に際して心理的抵抗を感じることを回避する
- √ 方針決定はあくまでも主治医が行うシステム
- √ 連携医師に患者氏名、住所、電話番号を休暇に先んじて伝える
- √ 患者からの連絡は主治医が受け、連携医師に連絡し口頭で病状や留意すべき点を伝える
- √ 連携医師は主治医の指示を仰ぎながら、その手足となって患者に対応する

診診連携まっど方式

- v 必要な医療材料等は患者宅に用意しておく
- v 主治医の治療方針には口出しをしない
- v 3人の開業医仲間で2007年7月から開始した
- v 松戸市医師会のアンケート調査で興味を示した先生も加え、将来的には複数のグループがそれぞれ支え合う形への発展を想定
- v 相互に不平等感を抱かせないシステム
- v 悩んだとき、困ったときに仲間として支え合う

“代診医のお知らせ”

- この度、8月14日～8月16日まで、〇〇クリニック院長は不在となります。不在期間中の緊急時の対応は、〇〇医師(〇〇医院院長)、川越正平医師(あおぞら診療所)が行わせていただきます。病状に変化があり医師の診察を希望する際はTEL090-〇〇〇〇-〇〇〇〇(〇〇の携帯電話番号)に先ずご連絡をお願いします。主治医である私が電話にて病状確認後、必要に応じて上記医師が訪問致します。